

17 眼科研修プログラム

プログラム責任者:高木 智穂

1. 到達目標

A) 一般目標

眼科における診断と治療に必要な基本知識と技能を習得する。

B) 行動目標

基本的検査法を理解し、所見を解釈できる。

2. 方略(On the job training(OJT))

- (1) 研修の場は、眼科外来での診療、手術室での手術である。
- (2) 研修の指導にあたるのは、受け持ち患者の主治医である。
- (3) 研修医は主治医の指導のもとで、受け持った患者の診療に直接携わる。
- (4) 外来における研修
 - 1.新患については可能な限り予診を担当し、その結果をカルテに記載する
 - 2.外来担当医に同伴し、必要に応じて診察・カルテの記載を行う。
 - 3.患者の許可が得られれば、外来担当医の監視のもとで、外来検査および治療を自ら行う。
- (5) 手術室における研修
 - 1.手術担当医の監視のもとで、手術の準備・介助を行う。
 - 2.顕微鏡のテレビモニターを見ながら、実際の手術手技を学習する。

3. 評価

- (1) 研修医は、EPOC2 の研修医評価表で、臨床研修到達目標項目の自己評価による研修達成度評価を行い、ローテート終了時に自己評価記載を完了する。指導医は、同評価表の研修医自己評価を確認し、当該ローテート研修の指導医評価記載を完了する。指導医による評価結果は EPOC2 上でフィードバックされる。
- (2) 臨床研修指導医は、EPOC2 上で診療・手技・患者マネジメントについて適時評価を行う。
- (3) 臨床研修指導医または上級医は、本カリキュラムの行動目標のすべてに対する観察を行い、ローテート面談を適宜実施し、形成的評価をフィードバック面談シートに記録する。ローテート終了時の面談では、適宜看護師などの指導者も入り、総合的評価のフィードバックを行い、フィードバック面談シートに記録する。
- (4) 臨床研修指導医は、研修医が作成した病歴要約により、経験すべき症候、疾病、病態に関する理解度について WPOC2 上で形成的評価を行う。
- (5) 上記評価の上、次のローテーションで何を学ぶべきかなど、目標達成の方向性を見出せるように省察の時間をもち、話し合いを行う。

4. 週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土(第1のみ)
午前	外来研修	外来研修	外来研修	外来研修	外来研修	外来研修
午後	手術	手術	手術	手術	外来研修	